

## [報告]

## SC18 報告

東北大学サイバーサイエンスセンター・スーパーコンピューティング研究部

江川 隆輔

2018年11月11日～16日に米国テキサス州ダラス市のKAY BAILEY HUTCHISON コンベンションセンターにおいて、International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (SC18)が開催されました。SC18は約365の企業や大学、研究所などが展示ブースを構える高性能計算分野における最大規模の国際会議です。今年には世界各国から13,071人の研究者、システム開発者が集い、当該分野における最新の成果発表や技術紹介があり、将来のシステムとアプリケーション開発に関して活発な議論がされました。今年度は、当センター高性能計算(NEC)共同研究部門の小松准教授の論文、情報科学研究科滝沢・江川研究室のMulya Agung君のポスター論文が採択され、発表を行い第一線の研究者らとの議論を行いました。

また、サイバーサイエンスセンターでは、本学の高性能計算に関する研究成果の発信を目的に、流体科学研究所、金属材料研究所、メディカルメガバンクと連携して展示ブースを構えました。展示ブースでは、本センターのシステム紹介、将来の高性能システムのための研究開発に関する展示・成果発表を行いました。展示ブースに多くの訪問者を迎え、広く当センターの活動をアピールできただけでなく、大変有意義な議論と情報交換を行う事ができました。



東北大学展示ブースの様子